

しんとう夢21



今年も健康で楽しくみんなと過ごせますように

福祉センター「ささえの家」 利用者様 作

2026

1

No.67



この「しんとう夢21」は、共同募金の配分金によって発行されています。

発行／榛東村社会福祉協議会

群馬県北群馬郡榛東村大字新井507番地3 発行人／金井 佐則

日常生活の心配ごとや悩みごとなら… 心配ごと相談所



- 日時 毎月第2金曜日
午前9時30分～午前11時30分
- 場所 福祉センターささえの家「ボランティア室」(ふれあい館西)
- 相談員 民生児童委員、人権擁護委員、行政相談委員、民生児童委員経験者、主任児童委員経験者

相続や金融等法律に関することなら…

村民無料法律相談所



- 日時 毎月第4金曜日 午後1時30分～午後4時30分 (1人30分)
 - 場所 福祉センターささえの家「ボランティア室」(ふれあい館西)
 - 相談員 群馬弁護士会員 弁護士
- *1回につき6名までの完全予約制となっております。必ず電話予約をお願い致します。
(予約時間は平日午前9時～午後5時まで)

**必要になった時
ご相談ください**

福祉機器 村内在住で在宅介護されている方に福祉機器を無償で貸し出しています。
*介護用ベッド(手動式タイプ) *車椅子(子供用もごさいます)
◆貸し出し期限はございません。必要な期間ご使用ください。
なお、長期入院入所などの場合は一度返却をお願いいたします。

福祉車両 村内在住で在宅介護されているご家族の方に福祉車両の貸し出しを行っています。
◆使用料…無料
◆ガソリン代…自己負担
◆ご利用回数…原則月2回まで、1回のご利用について2日以内
◆お申込期間…利用される日の1ヶ月前から5日前までをお願い致します。
◆ご利用にあたり、入所施設からの通院または退院から施設入所の際はご利用できませんのでご注意ください。

*福祉機器の貸し出しは、社会福祉協議会の会員様(社協会費納入の方)限定とさせていただきます。
社協会費とは、各区自治会長様のご協力のもと年間1,000円を納入している会費です。

介護保険事業へのご意見・ご要望を お聞かせください



皆様からの声を今後のサービス向上へとつなげてゆきたいと考えています。
些細な事でも結構ですので、お気づきの点がございましたらお気軽にお寄せください。

秘密厳守
相談無料

予約・お問い合わせは
55-5294
ゴーゴー ゴーフクジ



◆E-mail yume21@shinto-shakyo.jp ◆ホームページ <https://www.shinto-shakyo.jp/>

戦後80年～戦争の記憶を風化させない～ 戦没者慰霊祭

10月10日、村英霊廟(柳沢寺)において「戦没者慰霊祭」を開催しました。

式典は、戦没者の追悼と平和を願い黙祷が捧げられ、来賓から慰霊の辞が述べられました。また、ご遺族代表の高野辺遺族会長からは「戦後80年を迎え、私自身も80歳になりました。遺族の高齢化が進み、全国的にも遺族会の解散と共に慰霊の場の存続が厳しい状況にあります。しかし、戦陣に散った多くの英霊の祖国日本を守り戦ったことを後世に伝えるのが私たちの責任でもあります」と慰霊のことばを捧げられました。

今年も英霊廟祭壇には、参列者一人ひとりが敬意と哀悼の意を込め献花を行い、式典後は相馬ヶ原駐屯地第12音楽隊による慰霊演奏を披露いただき英霊を偲びました。



戦没者遺族靖国神社参拝事業

遺族の減少や高齢化と共に戦争で犠牲になられた方々の記憶も風化しつつあるなか、靖国神社に行かれたことのない遺族もおり国家防衛の為に亡くなられた方々の神霊が祀られている靖国神社を参拝し、英霊のこころや事蹟を知り後世にわたり英霊の顕彰を行うことを目的に「靖国神社参拝事業」を実施し、また、海外で亡くなられた戦没者の御遺骨で氏名不詳のためご遺族にお渡しできない御遺骨を埋葬する「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」を訪れ献花、参拝を行いました。

参拝後、昭和時代の歴史資料や情報、物品が保存されている「昭和館」へ移動し、戦中・戦後の展示品に懐かしさと当時の労苦を思い返しなが見学をされておりました。



主催：榛東村社会福祉協議会 共催：(株)霞山カントリー倶楽部 後援：榛東村

ゴルフ仲間がほしい！ 気軽に出会いたい！
ゴルフ×つながる ～であい夢プロジェクト事業～



10月18日、新たな出会いと自分磨きの場を提供し、村の活性化と発展へとつなげることを目的に実施しました。

昨年度に引き続き榛東村にある霞山カントリー倶楽部の共催で、男女混合のチーム戦でゴルフコンペを開催。

昨年度も参加された方や初めての方もスタート前からゴルフの話題で盛り上がり、プレー中も楽しまれ、参加者から「来年も参加するよ」「賞品も豪華でうれしい！」「緊張したけど一日楽しかった」「いろんな人にこのコンペを知って欲しい」などうれしい感想をいただきました。

令和7年度 祝敬老会

9月13日に村と社会福祉協議会共催で76歳以上の方をご招待し、300人余りの方が参加されました。



令和7年度で76歳以上の方 2,117名
(男性 890名 女性 1,227名)
99歳(白寿) 4名 ダイヤモンド婚(結婚60周年) 10組
88歳(米寿) 65名 金婚(結婚50周年) 16組
福祉表彰 1社



受賞者代表謝辞 坂庭早苗様

式典では、白寿、米寿、ダイヤモンド婚、金婚の方の褒賞と福祉表彰の贈呈が行われ、受賞者を代表して、米寿を迎えられた坂庭早苗様に謝辞をいただきました。

催し物は、江戸太神楽・仙若氏による日本の伝統的な芸と榛東中学吹奏楽部による心に響く演奏が披露され、招待者の長寿を祝い楽しいひとときを過ごしました。



一人暮らし保養事業

村内在住の一人暮らし高齢者を対象に、地域社会での交流を深め孤立感を解消し心身の健康や機能低下の予防を図り、明るく生き甲斐のある毎日を過ごせるようにすることを目的に実施しました。

今年は、人工洞窟に石彫観音像39体が安置されている「洞窟観音・徳明園」を訪れ、参加者は一体、一体に手を合わせながら拝観され、その後整備された日本庭園を参加者同士話しながらゆっくりと散策されました。

昼食後は、めんたいパーク群馬、道の駅らん藤岡で買い物を楽しみ、参加者からは「今年も参加できてよかったよ」「洞窟観音は初めてでこんな近くにあったなんてびっくりだった」「みんなに会えてよかったよ」と話されました。



～親子ふれあい交流事業～

親子で鉄道博士!? 「てっぱく」へ行こう!

村内在住の若年母子・父子家庭を対象に母(父)と子の交流を深め、家庭相互の親睦や家庭の自立促進を図ること目的に「親子ふれあい交流事業」を開催しました。

はじめに向かった先は、JR東日本創立20周年記念事業のメインプロジェクトとして開館された、埼玉県「鉄道博物館」を訪れました。館内には、車両・歴史・仕事・科学・未来の5つのエリアがあり、親子で体験しながら学ぶことや色々な種類の鉄道車両を背景に記念写真を撮り楽しい時間を過ごされていました。



昼食は、同市内ホテルのレストランで自分好みの料理が楽しめるビュッフェでゆっくりと食事を堪能していただき、その後は江戸時代の町並みが魅力の川越市「小江戸川越」で散策し、お土産をたくさん抱えバスへ戻られました。子ども達からは「みんなと行くと楽しい」「ご飯おいしかったーまた行きたい」とうれしい声が聞かれました。

福祉避難所設置・運営訓練

【主催：榛東村・社会福祉協議会】

9月22日、榛東村民生委員児童委員協議会・榛東村福祉避難所協議会・榛東村地域ささえあい協議体・群馬県社会福祉協議会の協力により総勢60名以上の参加による「福祉避難所設置・運営訓練」を実施しました。



今回は、協定施設への伝達訓練と指定福祉避難所である「ふれあい館」「福祉センターささえの家」「保健相談センター」での開設、個別避難計画に基づいた避難行動要支援者の移送・受け入れ訓練を内容としました。

災害想定：10月中旬(令和元年台風19号相当)の大型台風が夕刻から最接近し、大雨・洪水暴風警報及び大雨特別警報が発令されることを予想。榛東村も台風直撃の可能性が高く村は災害警戒本部会議を招集し、村内協定福祉施設と村社会福祉協議会へ避難所開設準備を要請、午後1時に警戒レベル3発令し、避難行動要支援者の避難が開始される。

訓練には、本会のこれまでの研修や訓練でご指導いただいている佛教大学キャリアサポートセンター専任講師(内閣府防災検討委員)の後藤至功氏を講師に迎えました。先生からは、訓練開始から職員へ「道路の通行止め」「発熱者の来所」「体調急変者の発生」等突発な課題指示が出され、何が起こるか分からない状況に判断力や対応力の重要性を改めて考えるきっかけにもなり、より実践的な訓練になりました。



後藤至功氏



！訓練開始！

- ①災害警戒本部・対策本部を村役場に設置【総務企画課防災担当職員が常駐、関係機関と情報共有】
- ②村災害警戒本部から村社協に福祉避難所開設準備の要請を受ける
- ③福祉避難所開設に向けて、情報共有、体制の構築や設営
- ④避難行動開始 13:00 榛東村災害対策本部より**警戒レベル3(高齢者等避難)発令**
避難行動要支援者の避難開始および一般避難所・福祉避難所の開設要請



災害対策本部から電話連絡



自宅から避難支援(移送)



福祉避難所受け入れ

振り返りでは、後藤先生から「全体として想定から実際の動きまで非常にレベルの高い訓練ができたこと、地域住民(村民生委員児童委員、ささえあい協議体)の方々が参加されたことで村職員、協定施設の職員、社協職員も良い緊張感の中で訓練ができていた」と評価くださり、更に今後の課題についてもアドバイスをいただきました。

また、群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター鈴木所長からも「様々な立場の方が参加する訓練ができることは素晴らしいこと。今後も続けてください」と挨拶され、避難者役の方々は「今後の取組にぜひ活かしたい」「避難者の気持ちに少しでも寄り添える体験ができてよかった」「貴重な体験でした」など感想いただきました。

「聴く力」が日々の暮らしに役立つ！

8月28日・29日「傾聴」ボランティア講座開催



現代、複雑化する環境の変化に地域の人と人とのつながりが希薄化し、孤立せず安心して生活できる環境づくりが望まれています。

そこで、一人ひとりが相手への理解と同時に自分への理解、また、コミュニケーションについても改めて考えるきっかけとして、「傾聴」をテーマに日々の暮らしに役立つ知識・技法を学び、新たなつながりとボランティアの育成を目的に開催しました。

今回は、NPO法人成幸カウンセリング協会副理事長の大和福江先生を講師に迎え、「傾聴の基本」、「傾聴とは」、「心に寄り添う聴き方と上手な話し方」についての講演。その後、ご近所トラブルや家庭問題の事例をもとに、グループで問題点の整理、解決点を話し合い、演習研修を行いました。参加者は、日頃の聴き方や思い込み、押しつけなどに気づき、傾聴の重要性を考えるきっかけになったようです。

参加者の感想

- ・傾聴は自分のためでもあることがわかった。
- ・傾聴がどれほど大事かよくわかりました。また参加したいです。
- ・グループでいろんな方とお話ができよかった。
- ・難しいところもあったけど先生の話もわかりやすく楽しく学べました。



歳末たすけあい募金活用事業 ご協力ありがとうございました!!



子育て支援事業★クリスマス会支援



今年度は、中央公民館の閉館に伴い、会場を南部コミュニティセンターに変更し、おはなしアイアイ(代表星野幸枝様)によるクリスマス会が11月29日に開催されました。

プログラムには、手作りのエプロンシアターやブラックパネルシアター、大型紙芝居など盛りたくさんの内容が披露され、短い時間でしたが子どもから大人まで楽しい時間を過ごすことができました。



ふれあいいきいきサロン推進事業

「楽しく」「自由に」「気軽に」集まった一人ひとりが主役!

サロンは、高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らせるために、気軽にでかけていける仲間づくりの場です。家に閉じこもりがちの人、話し相手がなくて寂しいといった不安や悩みを持っている人に声をかけ、みんなで集まり『楽しく!自由に!気軽に!』過ごせる場を地域の中につくり、「寝たきり」「閉じこもり」等予防し安心して地域で生活していただくことが目的です。

その他の歳末たすけあい募金事業

- ・寝たきり老人等布団丸洗いサービス
- ・シルバー人材センター見守り事業



群馬県社会福祉協議会から中島高志会長はじめ職員の方、また、他市町村社協の方々が見察に来ていただきました。



中島高志 会長



マップづくりは、世代を超えた顔の見える地域の関係づくりになり、情報共有することで実効性のある避難計画や日頃の見守り活動、災害から高齢者等、自ら避難が困難な方の命を地域の支援者と共に守り、安心して暮らせる地域づくり「近助」につながると考えられます。



本事業は、榛東村地域福祉活動計画で計画されている「地域における避難行動要支援者情報の把握と共有」に基づき、詳細情報を住宅地図に示し、避難行動要支援者を中心とした総合的な支援体制のマップづくりを実施し、地域住民の顔の見える関係づくり(地域力の向上)や避難行動要支援者等の福祉ニーズの把握を目的としています。

毎年更新！ 総勢233名が参加

見守りネットワーク事業

「住民支え合いマップづくり・個別避難計画作成」

11月18日広馬場地区、19日新井地区、20日長岡・山子田地区が役場庁舎内会議室において、自治会長はじめ各区役員、民生児童委員、ささえあい協議体、榛東駐在所、消防団、防災ボランティア、学校関係者、JA榛東職員が参加し、**災害時や日常の非常時に支援を必要とする方・世帯(避難行動要支援者)**を地域全体で見守るネットワークを構築するため「住民支え合いマップづくりと個別避難計画作成」を開催しました。



避難行動要支援者の状況や地域の情報を地域支援者同士で出し合い共有し、マップの作成及び避難支援が必要な方の個別避難計画を作成しました。

今年も当事者(避難行動要支援者)家族が参加し「今回このような場に来て、災害時の電気はどうか、誰に助けってもらうのか、地域の皆さんと具体的に考えることができ、すごく良い機会になった。他にもそういった方がいることも改めて知ることができた。消防団という立場と当事者家族という両方の立場でいるので、皆さんにも協力できるよう消防活動も頑張っていきたい」と貴重な感想をいただきました。



令和7年度防災功労者 内閣総理大臣表彰受賞

防災功労者内閣総理大臣表彰は、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象とされた表彰です。

今回の受賞は、見守りネットワーク事業「住民支え合いマップづくり」と連携した「個別避難計画」を策定するなど実践的な計画づくりを行い、住民の防災意識の普及啓発及び地域防災力の向上の取組みが防災体制の整備と評価され「防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

自治会会長、民生委員児童委員の方をはじめ地域の皆様、多くの関係者の方々に心より感謝を申し上げます。
今後とも社会福祉協議会の活動にご支援ご協力をお願いいたします。

- 平成19年度 住民支え合いマップづくり事業スタート
- 令和2年度 マップづくりに加え、個別避難計画作成
- 令和4年度 個別避難計画に基づく避難訓練(18区自治会)
- 令和6年度 福祉避難所設置、運営研修(特別養護老人ホームしんとう苑 他)



- ①マップづくりは、行政区地図のハザードマップを確認し要支援者宅(一人暮らし、高齢者世帯・障がい児者等)、支援者宅と危険箇所や除雪優先歩道を色分けし確認
- ②避難行動要支援者名簿は、本人や家族に同意を得た方を対象に迅速な避難行動ができるよう身体状況等に合わせた細分化し記載(身体状況区分 S・A・B・C)
- ③個別避難計画の作成は、避難行動要支援者名簿の方を対象に災害時に誰が支援するか、どこに避難するかなど、あらかじめ記載した計画

